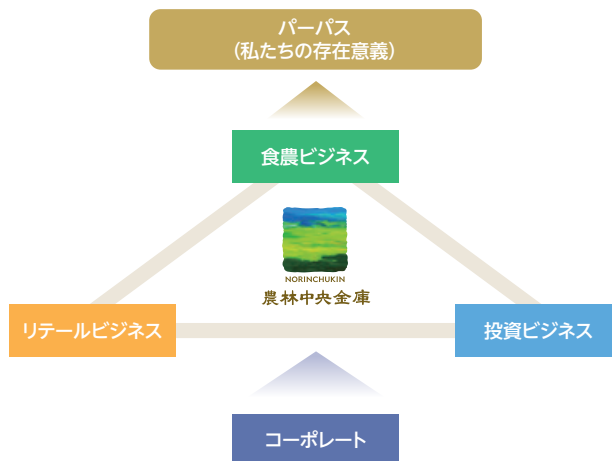


# 私たちの事業領域

## パーパス(私たちの存在意義)を実現・発揮していくためのビジネス領域

当金庫は、金融業務を通じて農林水産業の発展に貢献する協同組織金融機関として、役割を果たし続けるために、ビジネスモデルを柔軟に変化させてきました。

現在、そしてこれからの時代に向けて、私たちがパーパスを実現・発揮していくために、担う役割として主軸に置くのは「食農ビジネス」、「リテールビジネス」、「投資ビジネス」の3つのビジネス領域であり、これらを支えながら、新たな課題にも取り組む「コーポレート」が基盤にあります。



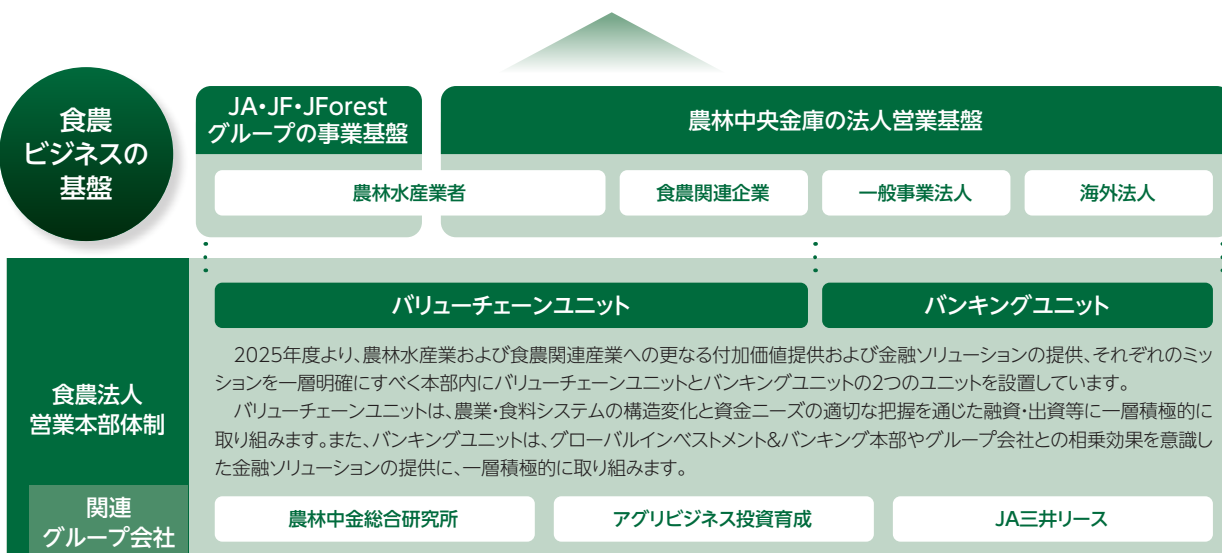
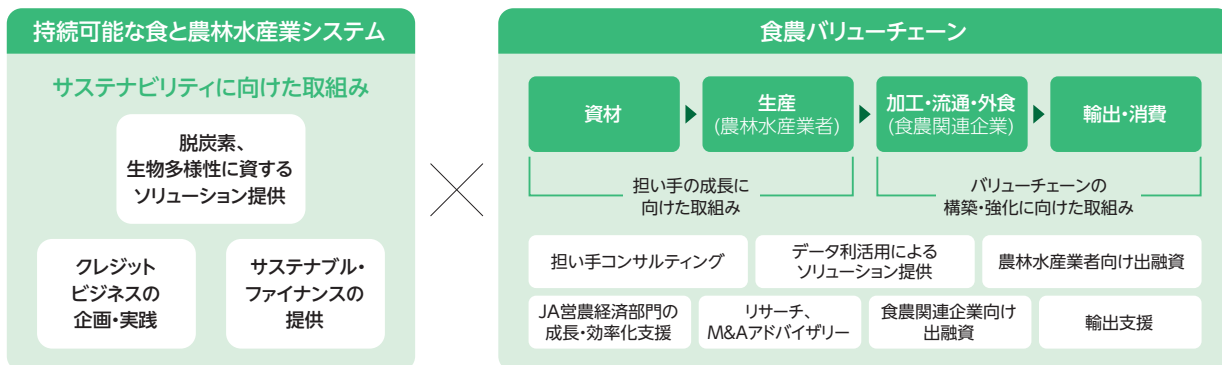
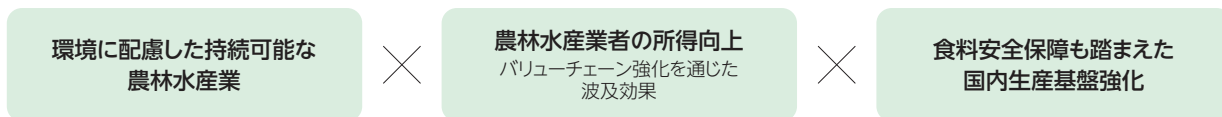
### 食農ビジネス

食と農林水産業のファーストコールバンクへ

▶ P.37

食農ビジネスは、JA・JF・JForestグループの事業基盤と当金庫の法人営業基盤を軸に、当金庫が有する金融・非金融機能をフル活用して、農林水産業者の所得向上に取り組み、持続可能な農林水産業と国内生産基盤の強化を目指すビジネス領域。

### 食農ビジネスの全体像

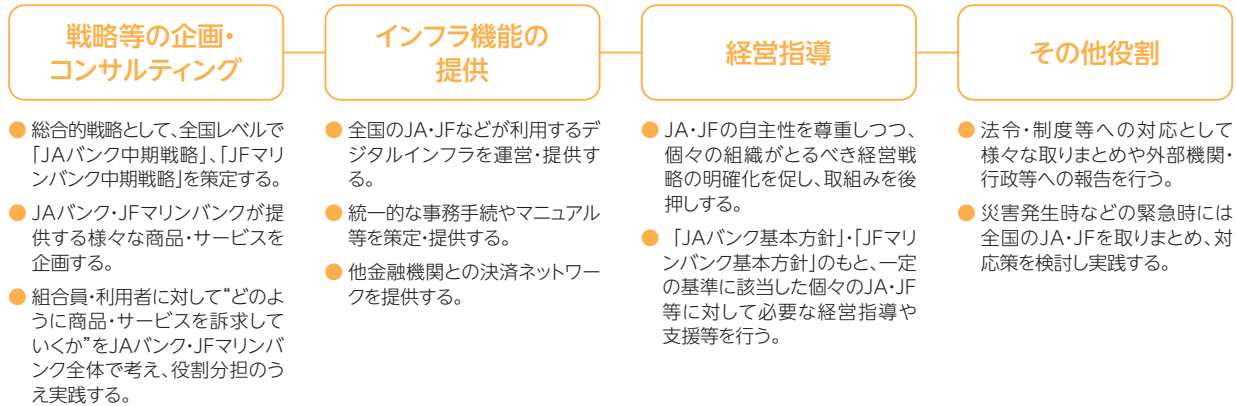


## リテールビジネス

### JAバンク・JFマリンバンクの一員として 様々な金融機能を提供

▶ P.41

リテールビジネスは、JAバンク・JFマリンバンクの全国機関として主に以下の役割を担うビジネス領域。

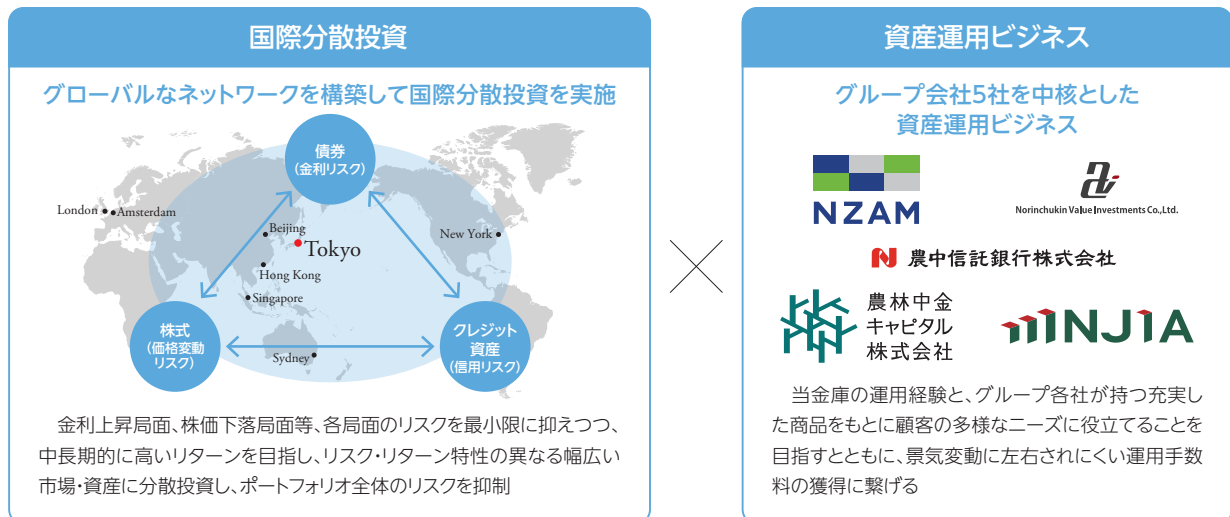


## 投資ビジネス

### JAバンク・JFマリンバンクの運用の 最終的な担い手として安定した収益を追求

▶ P.45

投資ビジネスは、会員から受け入れた資金をもとにした国際分散投資と、グループ会社と連携した資産運用ビジネスを通じて得た収益を会員に還元し続けていくことを目的としたビジネス領域。



## コーポレート

### 3つのビジネスを支える機能の提供に加え、 新たな課題にも取り組む



当金庫が価値を生み出す3つのビジネスを展開するために不可欠な基盤となっているのがコーポレートです。事務・IT、リスク管理、リーガル、財務会計、監査、経営管理という機能を担うなかで、経営環境の変化にもアンテナを張りめぐらせ、これまでにない価値の創造や企業風土・文化の変革にも挑戦するなど、様々な対応を進めています。

本統合報告書では、コーポレートの主要な取組みとして、「人材マネジメントの高度化に向けた取組み」▶ P.59 「デジタルトランスフォーメーション(DX)」▶ P.67 などを紹介しています。